



2026年3月2日 製紙産業イノベーション創出シンポジウム

製紙メーカーから 素材メーカーへ

—ひらめきを創る素材を提供する—

AIPA株式会社 マーケティング部 神原聖史

AIPA株式会社の概要

旧社名:愛媛パルプ協同組合



設立

1969年7月(昭和44年)

2021年6月に株式会社へ組織変更

資本金・社員数

資本金1億円

社員数65名(2026年2月現在)

事業内容

再生パルプ事業、ハイブリッド事業、
資源エネルギー事業

都市を「森」に変えるAIPA独自の資源循環モデル



古紙回収

企業・工場・家庭から紙資源を回収

再生パルプ製造

古紙100%再生パルプを製造

販売・供給

製紙会社へ再生パルプ原料提供

再生紙の供給

再生紙製品を排出元へ供給



業界が直面する「静かなる危機」



紙需要減少

デジタル化進展による
ペーパーレス化と
人口減少により紙需要が減少



コスト高騰

原料・燃料・薬品の
コスト上昇が経営を圧迫



価格転嫁困難

競争激化により製品への価格転嫁が難しい構造

環境は「コスト」ではなく 選ばれる理由へ

カーボンニュートラル社会の実現



石油系資源の削減



再生可能素材の活用



海洋プラスチック
汚染問題への対応

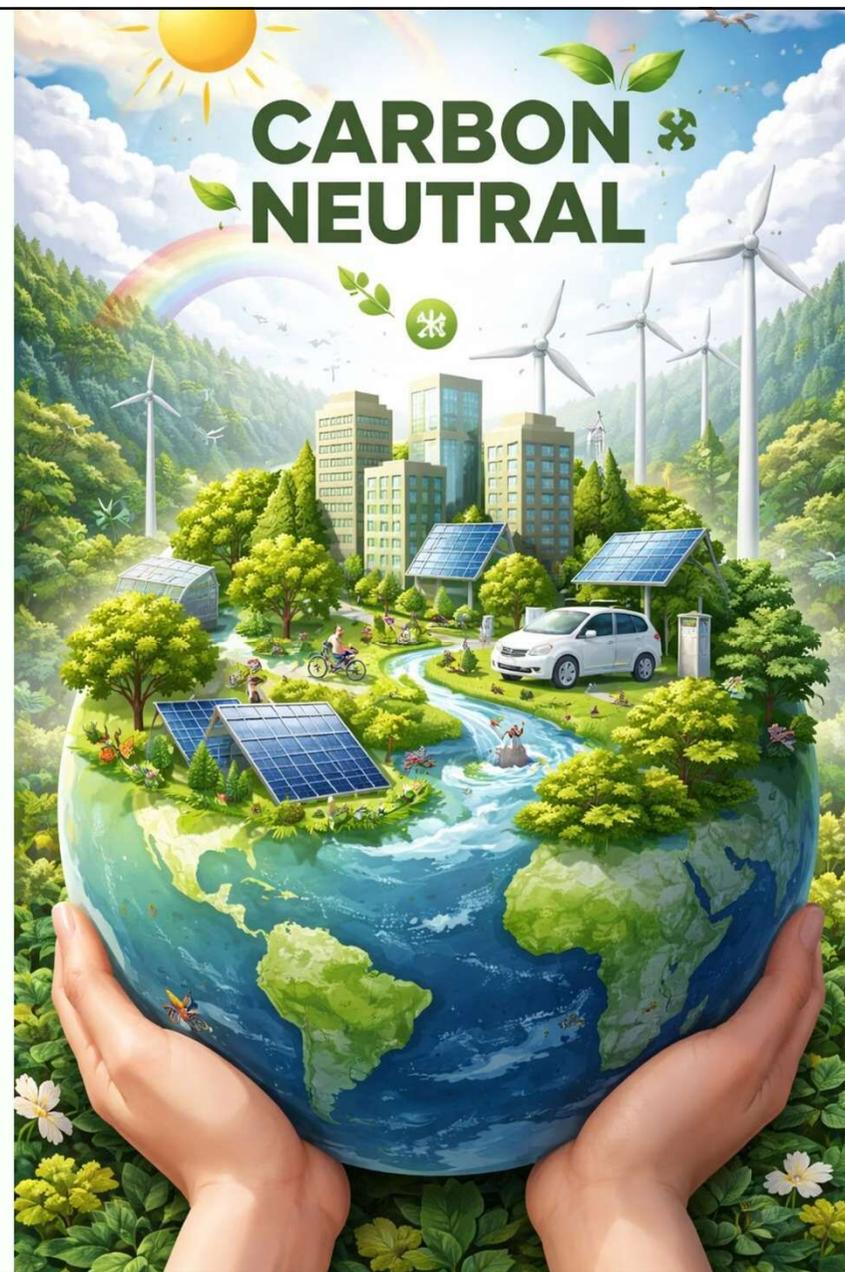
製品選定の焦点

これまで

価格・機能性・生産性・収益性

これから

環境貢献に対応する製品
であること



「紙」から「素材」への戦略的転換



「製紙業界に商品を提供するパルプメーカー」から「素材メーカー」へ方向転換すべく、経営理念を「ひらめきを創る素材を提供する」と定め開発を推進

新たな価値創出

紙×樹脂の複合化でプラスチック添加剤関連商品を開発

産官学連携

愛媛大学・愛媛県紙産業技術センターと共同開発

新市場開拓

古紙再生パルプの製紙分野以外への活用を目指す

環境と機能を両立する次世代素材



アイバー

古紙からインクや異物を除去した
環境配慮型セルロース素材

アイバーコート

特殊加工を施し、プラスチックと
容易に複合化できる添加材

アイブリッド

アイバーコートとプラスチックの
複合新素材(配合量20%・30%)

「アイブリッド」:パルプとプラスチックのハイブリッド



製品のメリット

- 1 プラスチック
使用量削減
20~30%置換え可能
- 2 強度向上
約20%の強度向上を実現
- 3 設備投資不要
既存設備で成形可能

天然素材の温かみーパルプが宿す「唯一無二」の表情ー



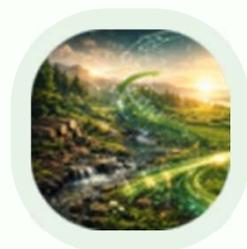
温かみのある質感

天然素材特有の「温かみ」や「揺らぎ」のある表情が生まれる



高級感のある意匠

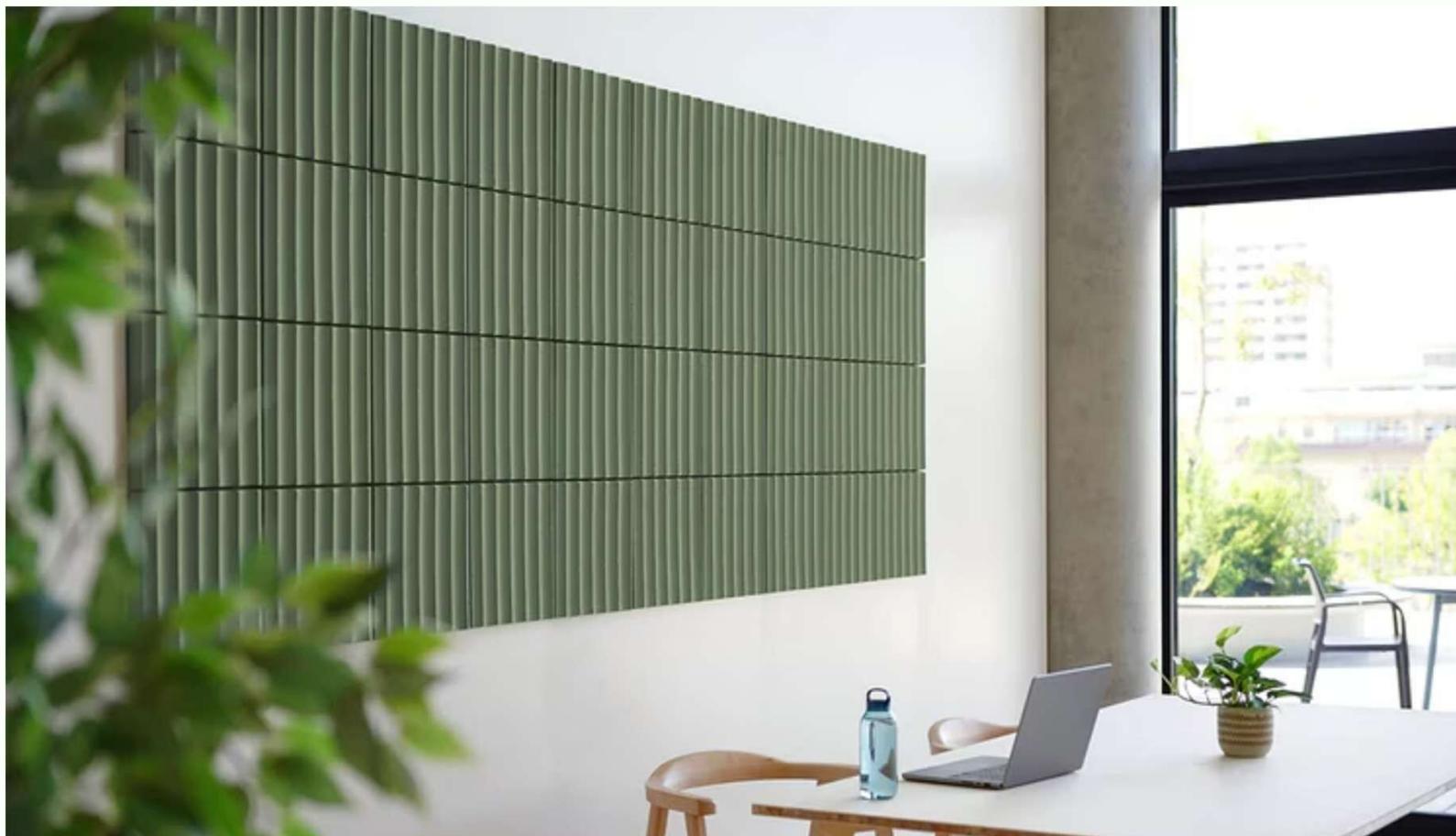
素材自体に艶消し効果があり、無加工の金型でも高級感を実現



ディープカラー

大地や自然を感じさせる色合いで他素材には出せない高級感

多機能素材としてのポテンシャル（アイバー採用事例）



未来への挑戦 – 51%以上配合 –



パルプ51%以上配合

「高配合アイブリッド」の開発を最終段階に進めている。配合率51%を超えると法令上「紙製品」とみなされ、プラスチック使用量削減の数値目標達成に大きなインパクトを与える。

適用樹脂の拡大

現在はPP(ポリプロピレン)を主としたラインナップだが、生分解性やリサイクル樹脂との複合化も視野に入れる。

【完成間近】アイブリッドM –パルプ51%配合–





AIPAが切り開く「素材の未来」

伝統から革新へ

「パルプメーカー」から「素材メーカー」へ進化し、製紙分野を超えた新たな価値を創造

環境と機能の両立

プラスチック使用量20～30%削減と強度20%向上を同時実現、既存設備で導入可能

圧倒的インパクト

パルプ配合率51%以上の開発により、製品区分を「プラスチック」から「紙」へ転換